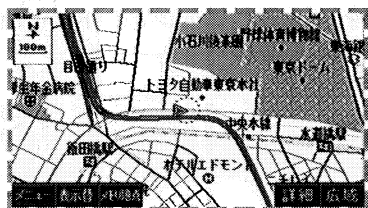


はじめに ワイドマルチAVステーションでできること

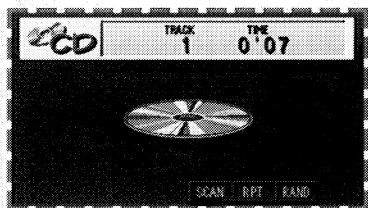
	モード	主な機能
1	GPSボイスナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在地の表示 ● 目的地への案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の登録
2	情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通情報放送の受信 ● FM多重放送の受信 ● メンテナンス機能の設定 ● 施設の情報の検索
3	オーディオ・テレビ	<ul style="list-style-type: none"> ● AM・FM放送の受信 ● カセットデッキの操作 ● CDプレーヤーの操作 ● テレビ放送の受信（ワイド画面放送対応）

※ 販売店装着オプションのCDチェンジャーなどを接続して操作することもできます。詳しくはトヨタ販売店でおたずねください。

1



3



1～3のどのモードからでも、他の希望のモードへの切り替えが可能です。（モード切り替えの順序は決まっていません。）

作動条件

ワイドマルチAVステーションの機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置など）により操作できるときと、できないときがあります。

○：操作できます。

×：操作できません。

モード \ エンジン スイッチ	LOCK	ACC	ON 停車中	ON 走行中
GPSボイス ナビゲーション/情報	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
オーディオ	×	○	○	○
テレビ	×	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。

⚠ 注意

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
- 走行するときには、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートが表示されることがあります。

🎓 知識

ナビゲーション画面では、走行中、操作できない項目は色が薄くなり、選択することができません。この項目を選択すると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。

操作パネル

ここに2ページの各画面が表示されます。
 情報スイッチ (132ページ) 現在地・再音声スイッチ (31ページ)



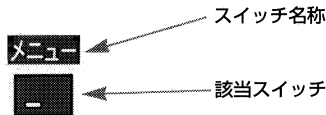
音質・画質スイッチ
(28、156、158、160ページ)

決定キー (⊙)
 画面の項目を選択するときは上下左右に動かし、決定するときは押します。また、地図を動かすときは、8方向に動かします。

ファンクションスイッチ
 これらのスイッチは表示されている画面の状況により、スイッチ名称とその働きがかわります。



各オーディオモードスイッチ
 押したスイッチのオーディオモードに切り替わります。

【例】
 右図のスイッチは **メニュー** です。



- ナビゲーション画面では、ファンクションスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまで押してください。
- 1つ前の画面に戻すときは、**戻る**を押します。

〈本書でのスイッチ表示〉

- ワイドマルチAVステーション本体（画面外）のスイッチを押すときは、（**現在地・再音声**・**音・画質**など）でスイッチ名称を表示しています。
- ファンクションスイッチを押すときは、でスイッチ名称を表示しています。
- 決定キーを使用するときは、**[決]**を～しますという表現をしています。
- 画面に**[カーソルで～を選択し～]**が表示されたときは、決定キーを上下左右に動かして選択します。



アドバイス

画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で強く押ししたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

ディスプレイの角度調整

車外からの光で画面が見にくいときなどに、画面を3段階に角度調整する（チルトする）ことができます。

TILT を押しごとに、約7° ずつ約21° まで傾きます。



⚠ 注意

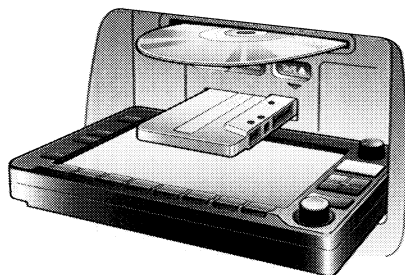
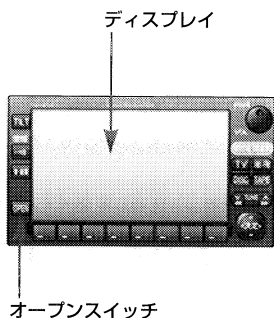
ディスプレイの角度調整をするときは手などはさまないよう注意してください。手などを挟んでけがをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。

📖 知識

- 最も傾いた状態（約21° 傾いた状態）で **TILT** を押しと、傾いていない状態にもどります。
- チルトしたままの状態でも、**OPEN** を押しと、ディスプレイ部を開けることができます。
- **OPEN** を押しと、ディスプレイを開閉したときは、**OPEN** を押ししたときのチルト状態にもどります。
- チルトした状態でエンジンスイッチをLOCKの位置にすると、傾いていない状態にもどります。このとき再度エンジンスイッチをACC、またはONにすると、エンジンスイッチをLOCKにする前のチルト状態にもどります。

音楽用CD・テープの出し入れ

音楽用CDは、下のマークのついたCDのみ使用できます。

**挿入するには**

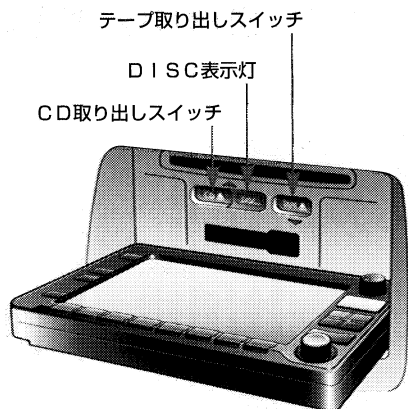
- 1 **OPEN** を押して、ディスプレイ部を開けます。

注意

ディスプレイ部の開閉をするときは手などを挟まないよう注意してください。手などははさんでけがをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。

- 2 挿入口にテープ、またはCDを奥まで挿入します。
 - CDは、ラベル面を上にして挿入します。
 - CDを差し込むと、DISC表示灯が点灯します。

- 3 挿入口の奥まで挿入されたことを確認してから、**OPEN** を押して、ディスプレイ部を閉めます。



取り出すには

- 1 **OPEN** を押して、ディスプレイ部を開けます。
- 2 テープ取り出しスイッチ、またはCD取り出しスイッチを押して、テープ、またはCDを取り出します。
 - CDを取り出すと、DISC表示灯が消灯します。
- 3 テープ、またはCDを挿入口から取り出したあと、**OPEN** を押して、ディスプレイ部を閉めます。

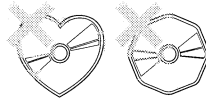
⚠ 注意

ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。



アドバイス

- ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるカセットテープを使用しないでください。回転不良やカセットテープを取り出せなくなるおそれがあります。
- カセットテープは90分以下のものをご使用ください。90分を超える長時間用テープは、テープの厚さが非常に薄いため、カセットデッキに巻き込むおそれがあります。
- カセットテープは、直射日光を避けて保管してください。テープがひずみ、使用できなくなるおそれがあります。
- カセットデッキにオイルをぬったり、金属や磁気をテープ挿入口にいれたりしないでください。カセットデッキの故障の原因になります。
- 8cm音楽用CDを挿入するときはアダプターを使用せずに、そのままCDを挿入してください。アダプターを使用するとCDを取り出せなくなるおそれがあります。
- 音楽用CDを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ハート型や八角形など特殊形状のCDは再生できません。機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- 音楽用CDは直射日光を避けて保管してください。CDがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ペンジン、シンナー、レコードスプレー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- CD挿入口には音楽用CD以外の物を挿入しないでください。故障の原因になります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因になります。
- CD・テープ取り出しスイッチを押して、CD・テープが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、CD・テープを傷つけるおそれがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、CD・テープを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。



知識

デッキ内部のテープを再生するヘッド周辺部（ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー）はよごれやすいので1カ月に1回程度はクリーニングテープでクリーニングしてください。

地図DVD-ROMの出し入れ

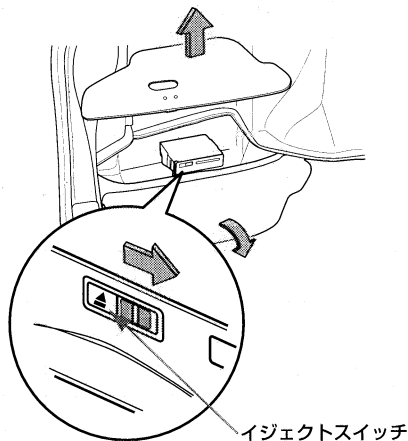
次の要領でナビゲーションユニット内に収納されている地図DVD-ROMの出し入れを行うことができます。

ナビゲーションユニットは、セダンはトランク内左側・ワゴンはラゲージルーム内右側に取りつけられています。

取り出すには

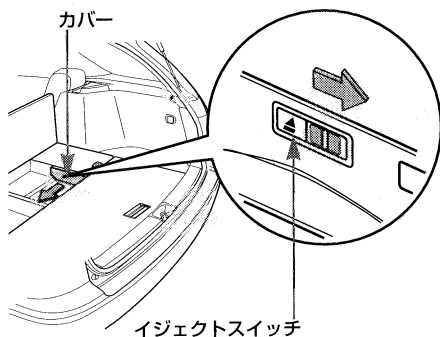
■セダン

- 1 エンジンスイッチをACCの位置にします。
- 2 トランク内左側のラゲージマットを開けます。
- 3 ボードを取りはずします。
- 4 ナビゲーションユニットのスライドノブを右にスライドさせ、イジェクトスイッチを押すと、DVD-ROM挿入口が開き、地図DVD-ROMが自動で排出されます。



■ワゴン

- 1 エンジンスイッチをACCの位置にします。
- 2 中央前側デッキボードをはずします。
- 3 カバーを取りはずします。
- 4 ナビゲーションユニットのスライドノブを右にスライドさせ、イジェクトスイッチを押すと、DVD-ROM挿入口が開き、地図DVD-ROMが自動で排出されます。



- 4 地図DVD-ROMを挿入口から取り出したあと、スライドノブを左にスライドさせて、DVD-ROM挿入口を閉めます。



アドバイス

地図DVD-ROMが完全に排出される前にスライドノブを左にスライドさせないでください。(DVD-ROM挿入口を閉めようとししないでください。)故障の原因になります。



アドバイス

- 地図DVD-ROMを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- 地図DVD-ROMは直射日光を避けて保管してください。地図DVD-ROMがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 信号面（ラベルが印刷されていない側）に直接接触すると、地図DVD-ROMがよごれ、エラーの原因となることがありますので、必ず地図DVD-ROMの中心の穴と端を挟んで持つか、地図DVD-ROMの両端を挟んで持ってください。
- 地図DVD-ROMにボールペンやサインペンなどで文字を書いたり、紙やシールを貼りつけないでください。
- ベンジン、シンナー、レコードスプレー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- 地図DVD-ROMはナビゲーションユニット内部で高速回転しますので、ヒビがはいったり、大きくそった地図DVD-ROMは使用しないでください。ナビゲーションユニットの故障の原因になります。
- DVD-ROM挿入口には地図DVD-ROM以外の物を挿入しないでください。故障の原因になります。
- DVD-ROM挿入口を開けたままで使用しないでください。故障の原因になります。

挿入するには

- 1 地図DVD-ROMをラベル面を上にしてDVD-ROM挿入口に挿入します。
- 2 スライドノブを左にスライドさせ、DVD-ROM挿入口を閉めます。

MEMO

